

英語科学習指導案

令和3年6月8日(火)第6校時
2年D組 40名
指導者 三村 洋平

1 単元名

Lesson 2 My Dream 10年後の職業について発表しよう

2 単元設定の理由

(1)教材について

- ①本単元は、農業を中心に職場体験学習について学習する。学習者は総合的な学習の時間でSDGsの視点から持続可能な職業について学んでいるので、教材の職場体験の話から職業について考え発表する活動へ取り組むことができる。
- ②言語材料は to 不定詞が用いられており、2030年の職業について自分が興味・関心があり、将来したいと思うことについて即興で話すことができる。
- ③新学習指導要領の1目標(3)話すこと「やり取り」ア「関心のある事柄について、簡単な文を用いて即興で伝え合うことができるようにする」指導と位置づける。

(2)生徒について

- ①本学級の生徒は、1年次から楽しく意欲的に学習に取り組んでおり、言語活動で体験を通して身につけた技法を使いながら多くの生徒が英語に慣れ親しんでいることがうかがえる。
- ②英語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」のうち、33%の生徒が「話すこと」に苦手意識がある。その主な理由として「頭の中ですぐに英文をつくるのが難しいから」「人前だと緊張して上手に話せなくなるから」などが挙げられている。
- ③英語の授業については「英語を話す際のコミュニケーション能力も身に付くから」「自分の考えだけでなく他の人の考えも知りたいから」などペア活動やグループ活動への参加には前向きな意見が多く見られる。

(3)指導について

- ①指導にあたっては、単元を通じて学ぶ不定詞を用いて、2030年の職業について簡単な語句や文を書いて発表する言語活動を設定する。ICTを用いて、自分が表現したい英文を書いたり、会話を継続させようとしている生徒を良いモデルとしたりして共有しながら指導に当たっていく。
- ②職業という総合的な学習の時間でも課題にすえて考えさせているので意見が出るものと考え。グループ内で自分の意見や考えを伝え合う中で、さらに自分の考えを深めさせたり修正させたりしながら、多様な考えや価値観を共有させたい。
- ③帯活動で What do you want to do? を用いて即興的なやり取りに取り組みせる。生徒の実態や習熟の程度を考慮し、マインドマップを用いて考えを整理する時間を設定し、計画的に指導することで会話を続けようとする意欲につなげていきたい。

3 単元の目標および評価規準

2030年の日本の職業について、言語活動を通して次の事項ができるようにする。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 不定詞の特徴や決まりを理解している。 ② 2030年の職業について考えたことや感じたこと、その理由などを不定詞を用いて伝え合う技能を身に付けている。	① 2030年の職業について、他のグループの発表を聞いて考えたこと感じたこと、その理由などを即興で伝え合っている。	① 2030年の職業について、他のグループの発表を聞いて考えたこと感じたこと、その理由などを即興で伝え合おうとしている。

時	主な学習活動・ねらい	指導上の留意点【問いの工夫】	評価規準・評価方法
1	単元の目標を知り、見通しをもつ。	Ⅰ 10年後に残っている職業はどのようなものが予想されるか Ⅱ 人間がAIに負けないところはどのような能力か	
2	【GET Part1】 不定詞(名詞的用法)を用いた英文について理解し表現する。	Ⅰ 不定詞(名詞的用法)を用いて自分のことを表現できるか	
3	【GET Part2】 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法)を用いた英文について理解し表現する。	Ⅰ 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法)を用いて自分のことを表現できるか	
4 ・ 5	グループごとにポスターと説明文をつくる	Ⅰ 聞き手が興味を引くように説明文の内容に工夫をしているか	【ア①】 ワークシート ポスター
6	2030年の職業について、不定詞と既習事項を用いて表現する。	Ⅰ 自分たちが紹介する職業について既習表現を用いて質問文をつくることできるか	【ア②】 行動観察 ワークシート
7 ・ 8 本時	2030年の職業についてポスターセッションで相手とやり取りをする。	Ⅰ 説明文を紹介した後に、即興でやり取りをすることができるか Ⅱ 即興のやり取りの中でどのような質問や聞き返し等をすればいいか	【イ①】【ウ①】 行動観察 記録 自己評価シート
9	【USE Read】 教科書の雑誌の記事を読んで、感じたこととその理由を伝え合う。	Ⅰ 将来つきたい職業を決める時に何を大切にすべきか	
10	単元の振り返りをする	Ⅰ 単元を通して2030年の職業に対してイメージをふくらませることができたか Ⅱ ポスターセッションの取組を通して即興で相手とやり取りをすることができたか	

(1)本時の位置づけ(6 / 8)

(2)題材名 2030年の職業を、ポスターセッション形式で友達とやり取りをしよう

(3)本時のねらい

2030年の職業について、ポスターセッション形式で相手と会話を続ける活動を通して、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる

(4)展開

時間	学習活動	指導上の留意点()	評価
5	1 ウォームアップ	○What do you want to do?を用いてペアで30秒間会話を続ける。	
5	2 前回のポスターセッションの振り返りをする	○動画を見せて、どこがいいのかペアで話をさせて発表させる	
2030年の職業を、ポスターセッション形式で友達と即興でやり取りをしよう			
30	3 グループごとに分かれてポスターセッションで発表を行う (1)100秒間で発表、やり取りをする (2)発表後、ワークシートを記入する	○聞き手は2人でワークシート記入させる ○100秒間、聞き手とやり取りを続けるよう指示する ○発表を5回したら、発表と聞き手を交代させる ○努力を要する生徒へノートをもとにできるだけ英語で会話を続けるように声かけをする。 *話し手、聞き手を交代するときに動画を見せてやり取りが十分にできているグループの動画を見せてよい点を発表させる	2030年の職業について、他のグループの発表を聞いて考えたこと感じたこと、その理由などを即興で伝え合っている 【思考・判断・表現】 (行動観察、記録)
即興のやり取りの中でどのような質問や聞き返し、言い換え、うなずきをすればいいか考えてみよう			
	(3)役割を交代し、発表する	○努力を要する生徒へは動画を見せる際にどのような表現を用いているのかいくつかのパターンを確認する	
10	4 振り返りをおこなう (1)本時の活動を振り返る(個→全体)	○自己評価シートを書かせる。 ○各班ごとのポスターセッションの感想を発表させる	2030年の職業について、他のグループの発表を聞いて考えたこと感じたこと、その理由などを即興で伝え合おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (自己評価シート)

評価について

単元の評価規準	観点	十分満足(A)	おおむね満足(B)	努力を要する生徒への手立て	評価方法
<p>①不定詞の特徴や決まりを理解している。</p> <p>②2030年の職業について考えたことや感じたこと、どの理由などを不定詞を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>知識・技能</p>	<p>① 文法を理解して、適切に表現することができている。</p> <p>② 2030年の職業について相手と即興でやり取りができている。</p>	<p>① 文法は理解しているが、やり取りの際、文法ミス等がある。</p> <p>② 2030年の職業について即興でやり取りができている。</p>	<p>活動中の言語使用について具体的にフィードバックしたり、活動後に自分が使用した英語を振り返ったりする機会をもつ。</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>定期テスト</p>
<p>2030年の職業について、他のグループの発表を聞いて考えたことや感じたこと、その理由などを即興で伝え合っている。</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>関連した内容で会話を続けたり、内容を広げたりすることができる。</p>	<p>相手が発表した内容の質問に答えることができ、相手に質問をすることもできる。</p>	<p>ノートをもとにできるだけ英語で会話を続けるように声かけをする。</p>	<p>行動観察</p> <p>記録(動画)</p>
<p>2030年の職業について、他のグループの発表を聞いて考えたことや感じたこと、その理由などを即興で伝え合おうとしている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>ワークシートの自己評価欄「相手に聞き返したり確かめたりすることができた」「相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いることができた」など全てA評価(4段階評価)で、観察からも納得できる。</p>	<p>ワークシートの自己評価欄「相手に聞き返したり確かめたりすることができた」「相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いることができた」など全てB評価(4段階評価)で、観察からも納得できる。</p>	<p>対話をしようとしていない生徒については、個別指導を行い、具体的な生徒のつまずきを見つけ、支援する。</p>	<p>自己評価シート</p>